

| | | | |
|---------------------------|--|--------|-------|
| 科目 | 初等教科教育法（理科） A | 単位数 | 2単位 |
| 担当教員 | 山本 真紀 | | |
| 履修対象 | 子ども発達2年秋学期・発達3年秋学期 | | |
| 概要と目的 | <p>「概要」 理科の目標、教育評価、安全指導など小学校理科学習の基礎的事項を理解し、理科の学習指導案を作成する。次いで作成した学習指導案に基づいて模擬授業を行い、評価の観点や評価方法についても学ぶ。</p> <p>「目的」 単元の構成を把握しながら模擬授業の実践を行い、授業の基本的な構成理解と、観察・実験を生かした授業を展開していくための知識や技術の基礎を身につけることを目的とする。</p> | | |
| 達成目標 | <p>「知識・技能」 （１）小学校学習指導要領の目標「A物質・エネルギー」「B生命・地球」の2領域の内容構成を確認し、理科の授業づくりの基礎的事項を理解する。 （２）「A物質・エネルギー」「B生命・地球」の単元研究を踏まえ、学習指導案の作成（単元観、児童観、指導観、本時の展開・評価）、加えて発問計画の作成、板書計画の作成、ワークシートの作成等について理解する。 （３）理科の実験における安全管理（観察・実験活動における事故対策、理科に関連する薬品の管理）について理解する。 （４）模擬授業を実施し、実際に生かしていく知識・技能を身につけることができる。</p> <p>「思考力・判断力・表現力」 （１）身につけた知識・技能を基に教材を作成し、模擬授業を試み、授業記録を基に学習指導を振り返り、評価し、実践的指導力を体得することができる。 （２）身につけた知識・技能を活用して、さまざまな場面にも対応していくことができる。</p> <p>「主体性・多様性・協調性」 （１）学びを社会に生かしていく力や児童理解を深める人間性を身につけることができる。</p> | | |
| 授業計画 | | | |
| 1 | オリエンテーション、学習指導案の書き方 | | |
| 2 | 理科の目標 | | |
| 3 | 小学校学習指導要領の変遷 | | |
| 4 | 理科学習と評価（１）評価の方法 | | |
| 5 | 理科学習と評価（２）理科の授業と評価 | | |
| 6 | 野外活動の方法 | | |
| 7 | 理科の安全指導 | | |
| 8 | 指導計画の作成とICTを活用した理科授業づくり | | |
| 9 | 模擬授業：教材づくり | | |
| 10 | 模擬授業：小学校理科3年生 | | |
| 11 | 模擬授業：小学校理科4年生 | | |
| 12 | 模擬授業：小学校理科5年生 | | |
| 13 | 模擬授業：小学校理科6年生 | | |
| 14 | 模擬授業の振り返り | | |
| 15 | 小学校理科教育の課題 | | |
| 授業形態／具体的な内容 | 講義／講義、演習、実験、グループワーク | | |
| 教科書 | | | |
| 教科書名 | 著者名 | 出版社 | 金額 |
| 小学校学習指導要領解説 理科編 | 文部科学省 | 東洋館出版社 | 122円 |
| 理科教育法 第3版－理論をふまえた理科の授業実践－ | 秋吉博之編著 | 大学教育出版 | 2200円 |
| 参考書 | <p>（１）文部科学省『小学校学習指導要領－平成29年3月』東洋館出版社、2018、ISBN978-4491034607</p> <p>（２）小学校理科検定教科書（東京書籍、啓林館、大日本図書、学校図書、教育出版、信濃教育会出版部）</p> | | |
| 成績評価の基準・方法 | <p>基準 ①学習指導案作成の意義を理解して実際に作成でき、②グループで協力して模擬授業を実施し、③小学校理科の授業に必要な知識・技能を身につけていれば合格とする。</p> <p>方法 （１）各自で小学校理科学習指導案を作成し、提出する。（20%）</p> | | |

